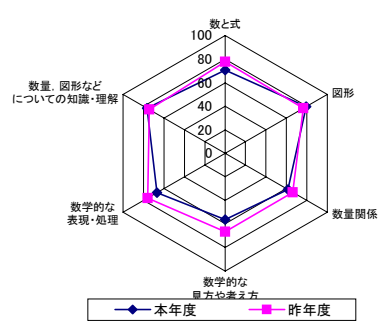


宇都宮市立瑞穂野中学校第1学年【数学】領域別／観点別正答率

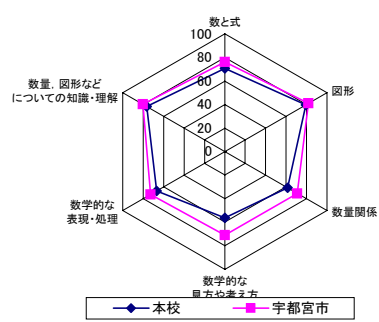
★本校の本年度と昨年度の状況

		本校	
		本年度	昨年度
領域別	数と式	70.7	77.7
	図形	79.4	76.5
	数量関係	61.3	66.3
観点別	数学的な見方や考え方	56.1	66.7
	数学的な表現・処理	66.8	75.9
	数量、図形などについての知識・理解	76.7	74.6



★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	70.7	76.1
	図形	79.4	81.7
	数量関係	61.3	71.0
観点別	数学的な見方や考え方	56.1	71.0
	数学的な表現・処理	66.8	72.7
	数量、図形などについての知識・理解	76.7	80.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (70.7%)	文字式や方程式の計算に関する問題は宇都宮市の平均正答率とほぼ同じであるが、数量を表す文字式や方程式の利用に関する問題の正答率が宇都宮市の平均正答率より低い。特に方程式の利用に関する問題の平均正答率が45.6%と最も低く、理解が不十分である。	文書を読みとり数字や文字を使って表すことが苦手な傾向があるため、数量の関係を等式や不等式で表現する問題を授業の中で多く取り入れていく必要がある。
図形 (79.4%)	点対称や線対称に関する問題の平均正答率は80%を超えており宇都宮市の平均正答率を上回っているが、平行の表し方の平均正答率が58.2%と低く、宇都宮市の平均正答率よりも低く、理解が不十分である。	直線、線分の意味や、垂直、平行の表し方などについて、再度授業で確認する必要がある。点対称や線対称に関する問題は、たくさんの作図を通して反復練習を行った結果、定着したと考えられる。今後も図形の指導については、作図などの操作的活動を重視し、図形概念を養っていくことが大切である。
数量関係 (61.3%)	点の座標や比例の関係に関する問題は80%前後の平均正答率でおおむね理解できているが、すべての問題において宇都宮市の平均正答率よりも低い。特に反比例の表や比例、反比例のグラフに関する問題の平均正答率が低く、理解が不十分である。	グラフは点の集合であるため、座標の概念や意味をさらに丁寧に指導する必要がある。座標の意味を十分理解することが、グラフの学習に大きく影響すると考えられる。グラフの学習については、変域が負の数まで拡張されるため、負の数の範囲の取り扱いを慎重にする必要がある。